

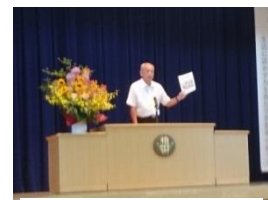
平成30年7月17日

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、暑い日が続くようになり、いよいよ夏本番になってまいりました。会員の皆様には日頃より本会に多大なるご支援、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、6月29日（金）に千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会を、柏市立柏中学校にて開催することができました。多くの来賓の方々や各支部の先生方のご臨席のもと、盛会裏に執り行うことができました。東葛飾支部柏支会の結束力が遺憾なく発揮された、素晴らしい研究大会になりました。



相京会長の挨拶

——定期総会から——

定期総会では、平成29年度活動報告、決算・会計監査報告、平成30日年度活動方針案及び予算案に関する件、役員選出などの報告・議事が進められ、大会宣言により締めくくられました。今年度の感謝状贈呈者は下記の方です。

（順不同・敬称略）



千葉	天野 新太郎	千葉	飯塚 清	千葉	高山 玲子	千葉	布施 勝美
八千代	今村 孝明	東葛飾	高橋 勇三	東葛飾	白鳥 政志	印旛	戸井 康子
香取	山下 一二美	山武	豊田 美恵子	君津	川田 卓也		

全国大会や全国作品展に入賞する作品の指導をされた指導者に対し、「優秀指導者表彰」が贈られました。受賞された方は、下記の方々です。

（順不同・敬称略）

市川 芳彦（船橋市立坪井中）	迎 寿美（千葉市立葛城中）
----------------	---------------

——公開授業から——

公開授業は、東葛飾支部柏支会研究主題「実践的・体験的な活動で生じた進度差に対応した指導・支援の在り方」のもと、授業が展開されました。技術分野、家庭分野それぞれの研究発表の後、千葉県総合教育センターカリキュラム開発部研究指導主事 岡田 一人様、千葉県教育庁東葛飾教育事務所指導室指導主事 福島理恵様よりご指導、ご講評を頂きました。

技術分野＜授業者 三宮 拓哉 先生（柏市立柏中学校）＞

技術分野では、発電所を自治体に誘致することを想定した、話し合い活動を行う授業が展開されました。班ごとに、発電の仕組みや環境、財政などの条件から最適な発電所を選ぶ活動が行われました。話し合いでは、他者を認め合い、自己存在感を体験できるよう「ジグソー法」を用いた活動を行い、生徒が生き生きと発表していました。エネルギー変換に関する技術を評価・活用する力を育む、興味深い授業となりました。

家庭分野＜授業者 古山 歩美 先生（柏市立豊四季中学校）＞

家庭分野では、3年生を対象に身の回りの商品の様々なマークについて調べ、グループごとに発表する授業が行われました。1年生で学んだ衣服のマークについての学習を踏まえ、商品購入の際マークを役立てることを狙いとした学習活動が進められました。生徒はICT機器によるプレゼンテーションを意欲的に行っており、授業者の「消費者として必要な確かな知識を身につけさせたい」という思いが伝わる授業が展開されました。



技術分野（エネルギー変換に関する技術）



家庭分野（消費生活と環境）



——記念講演 「ボクシングを通した人材育成について」——

— セレスボクシングジム会長 セレス小林 様 —

今年度は、セレスボクシングジム会長 セレス小林様をお招きして、「ボクシングを通した人材育成について」の演題のもと、ご講演頂きました。講演では、ご自身の世界チャンピオンとしての経験談や、後進への指導において「選手一人一人の力を Max（最高）にする」「（選手が引退したら）最後は無傷で親元に帰す」ことを心がけているなど、生徒の育成にもつながるとても興味深いお話がありました。



——作品展から——

今年の作品展も、県内より優秀な作品を集め、開催することができました。どの作品も創意工夫を凝らし、素晴らしい作品でした。その中で次の作品が平成31年1月26日（土）、27日（日）に行われる第19回全国中学生創造ものづくり教育フェア作品展や関ブロ長野大会に出展することになりました。（敬称略）

教育長賞 （技術分野） 「小物入れ」 千葉市立小中台中学校 塚原 郁
 （家庭分野） 「幼児の防災ベスト」 千葉市立小中台中学校 多田 陽菜乃



振興会長賞

技術	竹澤 知恵 船橋市立芝山中学校	家庭	遠藤 海人 八街市立八街中央中学校
	神保 里海 館山市立第二中学校		伊藤 彩葉 茂原市立南中学校
			山口 舞 栄町立栄中学校
			床田 千紘 千葉市立小中台中学校

以上 8 作品が全国中学生創造ものづくり教育フェア 生徒作品展出品

技術	井幡 凜 袖ヶ浦市立平川中学校	家庭	村田 佳穂 習志野市立第六中学校
	関口 侑瑞記 袖ヶ浦市立平川中学校		高島 凜 流山市立おおたかの森中学校
	渡邊 楓斗 横芝光町立光中学校		葛谷 知美 千葉市立轟町中学校

以上 6 作品が関ブロ長野大会 生徒作品展出品

振興会長賞（卒業生作品）

技術	鶴田 海斗 千葉市立花見川中学校	家庭	菅澤 来夢 香取市立小見川中学校
			白鳥 夢侑
			江副 華乃子 船橋市立宮本中学校
			遠藤 朱音 野田市立南部中学校 （創作活動部代表）

——お知らせ——

- ☆ 関ブロ長野大会が平成30年10月25日（木）・26日（金）に行われます。ご案内など詳細は後日送付されますが、より多くの先生方のご参加をお願いします。
- ☆ 第15回千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが11月10日（土）に千葉県総合教育センターで開催されます。本年度も多くの学校の参加をよろしくお願いします。

——編集後記——

多くの先生方のご協力により、部会だより第一号を発行することができました。今年度より広報部は、伊藤芳仁（広報部長・千葉市立高浜第一小学校）、榊原英記（広報副部長・千葉市立白井中学校）、大野忠（広報部員・千葉市立松ヶ丘中学校）の3名で担当いたします。今後も広報部より部会だよりを発行し、各地の作品展や研究大会などのお知らせをしたいと思います。よろしくお願いします。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》

平成30年11月30日

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

——第15回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア——

11月10日（土）に、県総合教育センターにて千葉県中学生創造ものづくり教育フェアが開催されました。

当日は、多くのご来賓をお迎えし、盛大に競技が行われました。会場には早朝より多数の生徒・保護者が来場し大変賑わいました。なお、詳細についてはGI☆KA CHIBA Web ページもご覧ください。

＜各部門の結果＞ （敬称略）

「ものづくり」部門ー木工の技 審査結果 1位 木更津市立木更津第三中学校 佐野あすか （県知事賞・全国大会出場権獲得） 2位 成田市立久住中学校 小海川 夏波 （県会長賞） 3位 茂原市立南中学校 平島 一輝 （県会長賞）	 開 会 式 （相京会長あいさつ）
「ものづくり」部門ーアイデアバッグ 審査結果 1位 御宿町立御宿中学校 中野 真里亜 （県知事賞） 2位 松戸市立六実中学校 小林 結愛 （県会長賞） 3位 松戸市立六実中学校 中村 彩希 （県会長賞）	
「ものづくり」部門ーお弁当コンクール 審査結果 ※レポート審査の上位7チームが競技。1位が全国大会へ推薦。 1位（県知事賞） 千葉市立葛城中学校 （田子 愛優美・星野 美羽・伊藤 結） 2位（県会長賞） 千葉市立葛城中学校 （内山 侑香・西間木 咲希） 3位（県会長賞） 千葉市立蘇我中学校 （高橋 桃音・高橋 天音） [学校給食会理事長賞] 千葉市立蘇我中学校（松尾 香苗・西原 真依子） [東京ガス エコ・クッキング賞] 千葉市立蘇我中学校（長野 桜季・黒崎 真愛） [キッコーマンおいしい記憶賞] 四街道市立四街道西中学校（大田 美耶子・吉田 千遥・齊藤 莉奈） [審査員特別賞] 千葉市立蘇我中学校（大塚 明弥・鍋嶋 春） 《学校賞》 木更津市立太田中学校	
「ロボットコンテスト」部門 競技・審査結果 ※各部門の1位・2位チームと、審査員による推薦チーム（特別賞）の3チームが関東大会に出場 ロボコン大賞 習志野市立第一中学校 “疾風”（県知事賞・応用部門） ＜基礎部門＞ 1 位 千葉市立幕張西中学校 “S・M・D・D・I・P”（関東大会出場） 2 位 野田市立岩名中学校 “KYKS”（関東大会出場） 特別賞 千葉市立幕張西中学校 “ニコ4”（関東大会出場） ＜活用部門＞ 1 位 千葉市立小中台中学校 “クローバー”（関東大会出場） 2 位 千葉市立小中台中学校 “コンパクト”（関東大会出場） 特別賞 千葉市立小中台中学校 “はたらくみりん”（関東大会出場） ＜応用部門＞ 1 位 千葉市立おゆみ野南中学校 “YOLO”（関東大会出場） 2 位 習志野市立第一中学校 “疾風”（関東大会出場） 特別賞 千葉市立おゆみ野南中学校 “サザンクロス”（関東大会出場）	



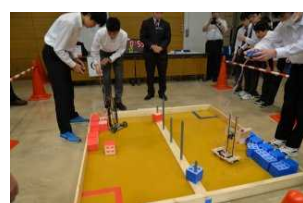
＜木工の技＞



＜アイデアバッグ＞



＜お弁当コンクール＞



＜ロボットコンテスト＞

——関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会 千葉大会——

11月7日（水）に、関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会が成田市立公津の杜小学校で開催されました。本大会は『未来を創り出す豊かな心と確かな実践力を育む家庭科教育』を大会主題として掲げ、6学級での授業展開と記念講演、分科会での協議が行われました。本大会には、たくさんの方々に参加していただき、分科会では活発な意見交換が行われました。今回の研究大会を通して、アクティブラーニングと持続可能な社会へ向けての教育について、研究を深めることができました。



＜公開授業の様子＞

＜分科会の協議＞

——関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 長野大会——

10月25日（木）～26日（金）にかけて、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 長野大会が研究主題、「共に拓く技術・家庭科の学習」のもと、9分科会に分かれて開催されました。また、天野 新太郎先生（前千葉市立朝日ヶ丘中学校長）、飯塚 清先生（前千葉市立千城小学校長）が長年に渡る本部会役員としての功績を讃えられ、表彰されました。

——第7分科会の様子——

「命を吹き返した衣服を地域へ」という題材で、地域の方に呼びかけて集めた古着の再利用を考えるという内容の授業が展開されました。集めた古着を座布団に再生し、地域の方々に喜んでもらえるよう、古着の「素材」や「丈夫さ」「大きさ」「活用方法」などを熱心に話し合う活動が行なわれました。会場校では、日頃から全教科を通して、「対話する学校」を合言葉に協働の学びを軸とした授業をされているようで、生徒が論理的に考え、互いに伝えあう姿が大変印象的でした。

長野県の実践発表の際は、ブレインストーミングの手法を用い、5～6名ごとの小グループで、良い点・改善点・疑問等を3色の付箋紙に書き、貼りながら話し合う協議が行われました。



——千葉県の発表——

関ブロ長野大会において、千葉県の先生の実践発表が以下の通り行われました。

第4分科会	成田市立西中学校 笠井 一広 教諭	確かな知識と技術を身につけ、社会の変化に対応し、 自ら課題を解決し生きる力を育む学習指導のあり方 ～小中連携によるプログラミング学習の展開を通して～
第7分科会	千葉市立磯辺中学校 中村 聡未 教諭	持続可能な社会を目指し、 生活を豊かに創造する力をはぐくむ学習指導のあり方

（第7分科会では、千葉市立椿森中学校 谷岡 真美 教諭が代理発表を行いました。）

——編集後記——

第2号は、千葉県中学校創造ものづくりフェア、関ブロ小学校家庭科千葉大会、関ブロ中学校技術・家庭科長野大会の内容を掲載しました。第3号では、各地の作品展や本年度の活動内容などを掲載したいと考えています。新しい情報やご意見などありましたら、広報部までお知らせください。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》

千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会だより

技術・家庭科教育部会 広報部

今年度も、早いもので残すところあとわずかになりました。会員の皆様には、日頃より本会に多大なるご協力を頂き、誠にありがとうございます。

—— 平成30年度の活動を振り返って ——

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会 会長 相京 貢

平成30年度も早いもので終わりを迎えています。今年度も各事業や研究を無事に進めることができました。これもひとえに本会を支えてくださる皆様の温かい御支援の賜と深く感謝申し上げます。

さて、6月に平成30年度千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会研究大会並びに定期総会が柏市立柏中学校で開催され、多くの先生方のご協力、ご支援により、研究協議並びに総会が盛会裏に終了できましたことを心から御礼申し上げます。

今年度は、現行の学習指導要領で実践してきた成果の検証をするとともに、新学習指導要領が来年度から移行期間（小学校は今年度から）に入るため、その準備をする年であったと思います。本部会の研究主題を「生活や技術を工夫し創造する実践的な態度の育成～主体的・対話的で深い学びを通して～」と設定し、平成30年11月には成田市立公津の杜小学校を会場として、関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会が開催され、350名を超える参加者が集い、有意義な大会となりました。

また、そういう成果を発表する場の一つとして、「県中学生創造のもづくり教育フェア」があり、今年は県の代表が関東大会を抜け、全国大会で4部門とも優秀な成績を収めることができました。これも先生方や応援していただいた方々のおかげと感謝いたします。

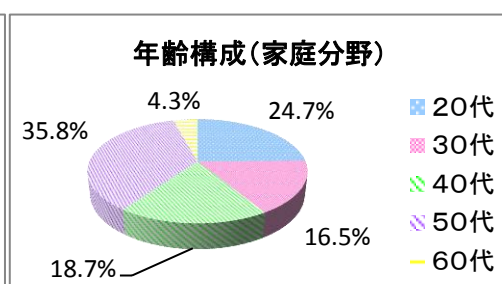
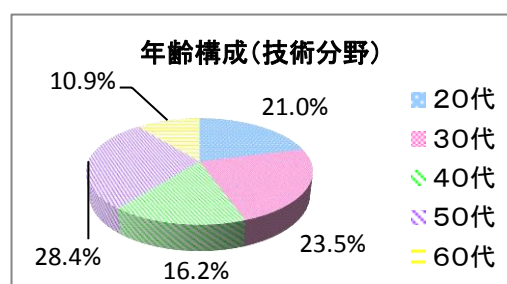
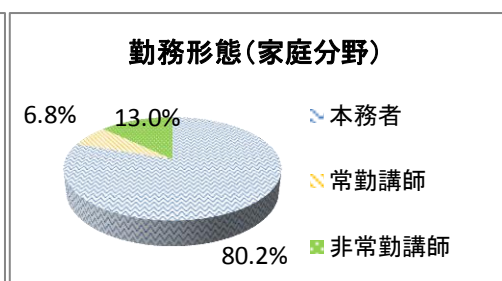
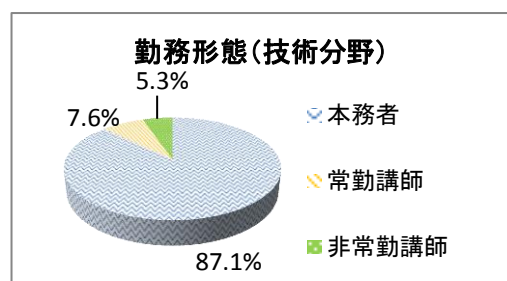
そして、これからも私たち教員は日々の実践を通して「技術・家庭科の見方・考え方」、「主体的・対話的な深い学び」、「生きる力」を多くの生徒たちに身に付けさせていかななくてはなりません。

最後に、皆様のご尽力に感謝申し上げ、今後とも変わらぬ御支援・ご協力をお願いし、今年度最終号の巻頭言といたします。

—— 千葉県中学校技術・家庭科教員現状調査より ——

今年度も調査編集部で、県内の技術・家庭科教員の現状調査を実施しました。免許保有、勤務形態、年齢構成、教科経営上の問題点など、調査総数378校からの回答を集計したものです。

(調査編集部資料より一部抜粋)



＜考察＞勤務形態については、技術分野の教員数に比べ、家庭分野の教員数が少なく、本務教員の割合も少ないのが現状である。

年齢構成については、技術・家庭両分野共に、50代以上が4割近くを占めている。担当者の若年化や、経験不足が懸念される。また、今後も本務教員の採用が必要である。

—— 全国中学生創造ものづくり教育フェアより ——

第18回全国中学生創造ものづくり教育フェアが1月26日(土)、27日(日)の両日、葛飾区立水元総合スポーツセンター体育館と女子栄養大学を会場として開催されました。アイデアバック部門で全国家庭科教育協会会長賞に中野 真里亜さん(御宿町立御宿中学校)、あなたのためのお弁当コンクール部門で女子栄養大学学長賞に田子 愛優美さん、星野 美羽さん、伊藤 結さん(千葉市立葛城中学校)、木工チャレンジコンテスト部門で林野庁長官賞に佐野 あすかさん(木更津市立木更津第三中学校)、が選ばれました。その他、千葉県からも作品展に優秀作品が出品され、素晴らしい成績を収めました。入賞作品を紹介します。

厚生労働大臣賞	全国市町村教育委員会連合会長賞
	
千葉市立小中台中学校(3年) 多田 陽菜乃さん 「幼児の防災ベスト」	船橋市立芝山中学校(2年) 竹澤 知恵さん 「LEDスタンド」
全日本中学校技術・家庭科研究会長賞	全国中学校産業教育教材振興協会会長賞
	
千葉市立小中台中学校(1年) 塚原 郁さん 「小物入れ」	館山市立第二中学校(1年) 神保 里海さん 「CDラック」

—— 千葉県中学生木工工作作品展より ——

平成30年度千葉県中学生木工工作作品展(一般社団法人千葉県木材振興協会主催、本部会協力)が、2月16・17日に県立青葉の森公園、公園センター森のギャラリー大・小展示室にて開催されました。今年度は県内各地区より計103点の作品が出品され、その中から16点が木材振興協会奨励賞に選ばれました。

<奨励賞>

千葉市立草野中学校	江尻 稀央さん	山武市立山武中学校	齋藤 樹さん
千葉市立磯辺中学校	田中 遙人さん	茂原市立東中学校	米岡 玲菜さん
船橋市立高根中学校	永壽 彩花さん	長南町立長南中学校	小林 音波さん
市川市立福栄中学校	新田 愛莉さん	勝浦市立勝浦中学校	石川 さくらさん
柏市立富勢中学校	塚越 美咲さん	南房総市立嶺南中学校	長谷川 友菜さん
印西市立印旛中学校	高野 真桜さん	木更津市立木更津第三中学校	佐野 あすかさん
印西市立印旛中学校	山野 隆貴さん	君津市立周西中学校	長谷川 優葵さん
香取市立佐原中学校	今泉 宗一郎さん	木更津市立畑沢中学校	幸谷 柊佑さん

—— 編集後記 ——

今回は、相京会長の挨拶、調査編集部の県教員現状調査、全国中学生創造ものづくり教育フェア、千葉県中学生木工工作作品展の様子を掲載しました。次年度も、作品展や研究大会に関する記事を掲載していきたいと思います。一年間ありがとうございました。

《千葉県教育研究会 技術・家庭科教育部会 広報部 千葉市立松ヶ丘中学校 大野 忠》